

施策を構成する事業評価

No.	9	担当課	健康づくり課
-----	---	-----	--------

1. 施策名

基本目標	2	健康で元気に暮らせるまち【保健・福祉・医療・社会教育】
政策名	1	適度な運動や正しい食生活でみんなが健康なまちづくり
施策名	2	検診事業の実施によりみんなの健康を維持します

2. 重点事業

事業名(中分類)	特定健診・特定保健指導事業		予算事業番号 (予算事業名)	国保後期特別会計4.1.1.204003(特定健康診査等事業)								
事業指標	特定健診の受診率	現状値 H27	実績値							目標値 R7	達成 状況(%)	
		32.2% (1月末現在)	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
事業概要	国民健康保険加入者の特定健診において、要指導者となった人に対し、生活習慣病予防を図るための指導を行う。											
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健診の結果から保健指導対象になった人に対し、3か月間の支援を行い、生活習慣の改善を促している。</li> <li>対象者の都合の良い日時に合わせ、個別指導で実施している。</li> <li>総合検診と同時に特定健診を受ける人には、健診会場で保健指導を実施し、来所の負担を減らすようにした。</li> <li>特定保健指導の初回面談実施率は67.4%だった。</li> </ul>											
課題・問題点等(C)	特定保健指導の実施率は国の目標が60%である。初回面談は67.4%と目標を上回っているが、途中終了者もいるため、目標に届かないのが現状である。(参考:平成30年度35.1%)											
今後の方向性(A)	対象者が参加しやすいよう、個別の指導や健診会場での実施、訪問等体制を整える。											

事業名(中分類)	成人検診事業		予算事業番号 (予算事業名)	4.1.6.104015(総合検診費)								
事業指標	5大がん検診の受診者数	現状値 H27	実績値							目標値 R7	達成 状況(%)	
		13,215人 (H26)	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
事業概要	健康増進法に基づいて実施するがん検診(胃・大腸・肺・子宮頸部・乳房)、歯周病検診、骨粗しょう症検診、肝炎検査、及び市独自で前立腺がん検診、30代の生活習慣病検診を実施する。がん検診等は、受診者負担を軽減するため、同一日に総合検診として実施する。											
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合検診を静岡県予防医学協会に委託し37日間実施した。</li> <li>がん検診受診者は、40歳以上の胃がん検診1,915人(平成30年度2,002人)、大腸がん検診3,447人(平成30年度3,456人)、肺がん検診2,652人(平成30年度2,626人)、乳がん検診(マンモグラフィ検査)1,821人(平成30年度1,754人)、20歳以上の子宮頸がん検診1,905人(平成30年度2,070人)だった。肺がんと乳がん以外の検診において受診者は減少してしまった。</li> <li>申し込みしやすい環境整備のため、今年度も電子申請を開設し、86人(平成30年度80人)の申請があった。</li> <li>受診率増加対策として、検診予約日に受診しなかった1,490人に対し、勧奨通知を送付した。</li> <li>歯周病検診は40・50・60・70歳の人を対象に歯科医師会へ委託し、6～9月に実施、受診者は146人、受診率は5.4%である(平成30年度受信者119人、受診率4.7%)。また、対象者のうち、87人が定期受診していることが把握できたため、それを併せた人数の受診者は233人で受診率は8.6%である。</li> <li>骨粗しょう症検診は70歳を新規対象者に加え、40～70歳までの5歳刻みの女性を対象に実施し、295人(平成30年度324人)が受診した。</li> <li>30代の生活習慣病健診は、240人(平成30年度232人)が受診した。</li> </ul>											
課題・問題点等(C)	がん検診等の受診率向上のため、対象年齢を検討し勧奨通知を発送しているが、検診受診者は伸び悩んでいる。											
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰もがわかりやすい受診勧奨通知を作成し、対象者への通知を継続する。</li> <li>電子申請については引き続き継続していく。</li> </ul>											

3. 基本事業

事業名(中分類)	なし		予算事業番号 (予算事業名)									
事業概要												
取組内容・結果等(D)												
課題・問題点等(C)												
今後の方向性(A)												

事業管理シート(施策)

基本目標	2	健康で元気に暮らせるまち【保健・福祉・医療・社会教育】
政策名	1	適度な運動や正しい食生活でみんなが健康なまちづくり
施策名	2	検診事業の実施によりみんなの健康を維持します

施策を構成する事業評価

No.	10	担当課	市民課
-----	----	-----	-----

1. 施策名

基本目標	2	健康で元気に暮らせるまち【保健・福祉・医療・社会教育】
政策名	1	適度な運動や正しい食生活でみんなが健康なまちづくり
施策名	2	検診事業の実施によりみんなの健康を維持します

2. 重点事業

事業名(中分類)	特定健診・特定保健指導事業				予算事業番号 (予算事業名)	4.1.1.204003(特定健康審査等事業費)						
事業指標	特定健診の受診率	現状値 H27	実績値							目標値 R7	達成 状況(%)	
		32.2% (1月末現在)	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	60%
事業概要	<p>・被保険者の高齢化や医療の高度化等により年々医療費が増加しており国保財政を圧迫している。このため、特定健診を実施し病気を予防、早期発見することで重症化する前の受診を促し医療費の抑制を図る。</p>											
取組内容・結果等(D)	<p>・広報紙への掲載や市民係窓口を設置されている電子掲示板でのポスター掲示、市フェイスブックへの記事掲載等により周知を図った。                  ・市独自のチラシ・ポスターを作成し、市内医療機関やJA、商工会等を訪問して受診促進に向けた協力を依頼した。                  ・健康づくり推進委員総会、連合自治会定例会に出席し各地区での受診勧奨を依頼した。                  ・集団健診実施後の未受診者対策として、受診率は低いと通知をすることで受診者の増加が見込める特定の年代・性別に対して受診勧奨の通知を発送した。                  (令和元年度は集団健診後に40歳～54歳の女性、396名を対象に送付。)                  以上の取り組みを実施したが、平成30年度と同程度の受診率となる見込み。</p>											
課題・問題点等(C)	<p>・かかりつけ医で定期的に受診されている方から、担当医より特定健診は受診する必要があると言われたとの連絡を受けることがあるため、医師会と連携し理解を得る必要がある。                  ・健診に関心のない方に興味を持ってもらえるよう、通知の内容や文面を検討していく必要がある。</p>											
今後の方向性(A)	<p>・データヘルス計画に基づき事業を実施していく。                  ・受診勧奨する対象者や勧奨方法、各通知の文面等について検討する。                  ・引き下げた受診料1,000円については継続する。</p>											

3. 基本事業

事業名(中分類)	なし	予算事業番号 (予算事業名)	
事業概要			
取組内容・結果等(D)			
課題・問題点等(C)			
今後の方向性(A)			

事業管理シート(施策)

施策を構成する事業評価

No.	9	担当課	【令和元年度実施分】 健康づくり課
-----	---	-----	----------------------

1. 施策名

基本目標	2	健康で元気に暮らせるまち【保健・福祉・医療・社会教育】
政策名	1	適度な運動や正しい食生活でみんなが健康なまちづくり
施策名	3	心の健康事業の実施によりみんなの心の健康を作ります

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし		予算事業番号 (予算事業名)										
事業指標	現状値 H27	実績値										目標値 R7	達成 状況(%)
		H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
事業概要													
取組内容・結果等(D)													
課題・問題点等(C)													
今後の方向性(A)													

3. 基本事業

事業名(中分類)	精神保健相談・指導事業		予算事業番号 (予算事業名)	なし									
事業概要	精神保健に関する相談・指導を関係機関と連携して実施する。												
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報菊川や市ホームページに相談窓口を掲載した。</li> <li>・精神保健に関する相談に対し、電話や窓口等で随時対応した。(健康づくり課対応13件)</li> <li>・民生委員に対するひきこもり調査を健康づくり課で担当し、民生委員から20ケースについて情報収集し、関係4部署でケース検討を実施した。</li> <li>・ひきこもり相談の市の窓口を、福祉課生活福祉係にすることで調整した。</li> <li>・相談内容や対象者によって窓口が異なるため、関係機関と連携しながら相談対応を行っている。</li> </ul>												
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が必要な時に相談できる体制を整え、相談窓口の周知をしていく必要がある。</li> <li>・より専門的な支援ができるよう、関係機関と連携しながら体制を整えていく必要がある。</li> </ul>												
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談窓口一覧を作成し、広報や市ホームページに掲載、また、自殺予防キャンペーンでの配布等、あらゆる機会において相談先の周知を継続する。</li> <li>・関係機関と役割分担、連携しながら、相談者への対応を継続する。</li> </ul>												

事業名(中分類)	精神保健啓発事業		予算事業番号 (予算事業名)	4.1.6.104013(精神保健事業)									
事業概要	精神保健に関する正しい知識普及のために、研修会開催や自殺予防キャンペーン、広報等を実施する。												
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国が実施する9月の自殺予防週間実施に向けて、広報菊川8月号にうつ病予防の記事を掲載した。</li> <li>・9月の自殺予防週間に併せ、「正しい睡眠の知識」をテーマに、こころの講演会を1回実施し、72人(平成30年度71人)の参加があった。</li> <li>・認知症サポーター養成講座を1回開催し、49人が受講した(平成30年度51人)。</li> <li>・こころの講演会と認知症サポーター養成講座に併せて、ゲートキーパー研修を実施した。</li> <li>・他の啓発機会としてゲートキーパー研修会は、出前行政講座としての利用が1回35人と少なかつたため、料理教室で2回39人に実施した。また、今年度は健康づくり推進委員による伝達ミニ講座として、「ゲートキーパー研修」を、6自治会で実施し、139人が受講した。</li> <li>・自殺予防キャンペーンを9月に2回、杏林堂菊川店及びしずてつストア小笠店にて実施し、来店者400人(杏林堂300人、しずてつストア100人)に対し、相談窓口を含めた啓発物を配布して周知を図った。</li> </ul>												
課題・問題点等(C)	・ここ数年、市内での自殺者数は1桁で増減を繰り返している。特に今年度は、働き盛りの男性の自殺が多かった。庁内外の関係者と連携し、自殺者の減少、自殺に追い込まれる人がなくなることを目指す必要がある。												
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携し、平成30年度に策定した「自殺対策計画」を推進することで、自殺者の減少を図っていく。</li> <li>・研修会等を実施し、市民に正しい知識の普及を行っていく。</li> <li>・ゲートキーパー研修等は様々な機会を捉えて、積極的に実施する。</li> </ul>												

施策を構成する事業評価

No.	9	担当課	健康づくり課
-----	---	-----	--------

1. 施策名

基本目標	2	健康で元気に暮らせるまち【保健・福祉・医療・社会教育】
政策名	1	適度な運動や正しい食生活でみんなが健康なまちづくり
施策名	4	予防接種事業の実施により疾病予防を行います

2. 重点事業

事業名(中分類)	成人予防接種事業				予算事業番号 (予算事業名)	4.1.3.104021 予防接種費(健康づくり課)						
事業指標	肺炎球菌予防接種実施率	現状値 H27	実績値								目標値 R7	達成 状況(%)
		49.6%	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	60%
事業概要	定期接種である高齢者肺炎球菌とインフルエンザ予防接種、任意接種として高齢者肺炎球菌予防接種を実施する。 令和元年度から指定年齢の男性に風しん抗体検査、及び陰性者へ第5期の予防接種を実施する。更に、先天性風しん症候群予防のため、市単独で風しん予防接種の助成を実施する。											
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者肺炎球菌予防接種について、定期接種対象年齢1,765人に通知、450人接種し、25.5%の接種率だった。また、定期接種以外の希望者に対して、任意での予防接種費助成を47人に実施した。</li> <li>・高齢者インフルエンザ予防接種については、10～11月の間7,675人に実施し、接種率57.1%だった。</li> <li>・風しん抗体検査対象者2,524人に無料クーポンを送付、抗体検査実施者513人実施し、20.3%の実施率だった。抗体検査が陰性だった者、で風しん予防接種を実施した者は139人だった。</li> <li>・医師会や長寿介護課等の関係部署と連携・協力し、接種勧奨を行った。</li> <li>・誤接種の報告は0件だった。</li> </ul>											
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接種機会が2度目となった定期の肺炎球菌定期予防接種率が低くなってしまった。</li> <li>・風しん抗体検査の実施者が少ない。</li> <li>・引き続き誤接種が無いよう、国のガイドラインに沿って委託医療機関に実施してもらう必要がある。</li> </ul>											
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染予防、重症化予防のため、予防接種事業を継続する。</li> <li>・関係部署の協力を得ながら、接種勧奨を継続する</li> <li>・任意の高齢者肺炎球菌予防接種の助成は、令和2年度をもって終了するため、接種機会が最後になることを周知していく。</li> <li>・風しん抗体検査について、令和2年度の対象者にクーポンを送付すると共に、これまでの対象者にもはがきを送付し、勧奨を行っていく。</li> <li>・医療機関での誤接種予防のために、チェックリストの配布や予防接種説明会を実施し、啓発していく。</li> </ul>											

3. 基本事業

事業名(中分類)	なし	予算事業番号 (予算事業名)	
事業概要			
取組内容・結果等(D)			
課題・問題点等(C)			
今後の方向性(A)			